

# 感謝を力に、社会に貢献する人材へ



## (姉)高橋 由美 さん (工学部 平成29年3月卒業)

### 大手外資系ITメーカーに内定

私の実家は宮崎で内装業を営んでいます。父が必死に仕事をして、経営はなかなか思うよういかない状況でした。それでも母はいつも太陽のように明るく、私たち3姉妹を育ててくれました。

姉が大学受験のとき、創友給付奨学金が新設され、創友給付奨学金1期生として、創価大学に入学しました。宮崎に帰省するたびにどんどん成長して帰ってくる姉の姿に、もともと創価大学への進学を悩んでいた私でしたが、地域の方々からたくさん励ましもいただき、創価大学進学を決意、創友給付奨学金にも採用され、43期生として入学しました。

入学後、創春寮での生活は、人との関わりが苦手な私にとって悩みの連続でした。特に2年次に残寮生として留学生と一緒に生活した際は、文化の違いから共同生活の難しさを痛感しました。しかし、ひとつひとつ「何のためか」を明確にし、皆で語りあう中で心を通わせることができました。気付けば、寮生活を通して何でも語り合える一生涯の友情を築くことができ、自分の意見が言える人に成長することができました。

就職活動では、どこへ就職しても「何をするか」は結局自分次第だと感じ、「どんな人たちと一緒に働くか」を大事にしながら挑戦。大手外資系ITメーカーより内定をいただくことができました。最初の赴任地は、地元・宮崎です。職場で信頼を勝ち取り、育ててもらった、父母、地域の方々に恩返ししていきたいと決意しています。

創価大学で学ぶことのできた4年間は、かけがえのない金の思い出となりました。これからも、創大生として何があっても負けずに、創価の春をつくっていける女性に成長していきます。

## (妹)高橋 昌美 さん (文学部2年)

### 2年間中国に留学するDDコースに合格

幼いころより、決して楽ではない家計状況は肌で感じていましたが、それでも両親は、創価大学に姉妹全員を送り出すために応援し続けてくれました。姉から学生生活や寮生活の話聞き、高校2年次にはオープンキャンパスにも参加することができ、創価大学で学びたいという思いがさらに強くなりました。

また地元の創大生の先輩が留学から一時帰国した際に、留学先の様子を教えてくれました。生き活きと目標に向け挑戦している姿に、私も先輩のように成長したいと中国に2年間留学する文学部ダブルディグリー (DD) コースに行くことを決意しました。

猛勉強の末、創友給付奨学金と創友会ふるさと給付奨学金に採用していただき、創価大学に無事合格。入学後には、兄弟姉妹同時在籍者への給付奨学金、1年後期には特待生にも採用になり、安心して勉学に励むことができました。そして、姉と同じ創春寮に入寮。毎日が本当に楽しく、夏休みで実家に帰省しているときも、寮に戻りたいと思うくらいでした。

中国留学のための勉強は、ゼロからのスタートでしたが、一緒に寮で生活していた中国人留学生から中国語を教えてもらい、楽しく学ぶことができました。1年間の勉強で、こんなに中国語の読み書きができるようになったことに驚いています。そして、無事、中国語DDコースに合格することができ、これから2年間、中国留学に行ってきます。

両親、そして私が生まれたときから、自分の子どものように可愛がってくれた地元宮崎の方々に喜んでもらえるように、創大生として中国で真剣に学び、世界で活躍する人材に成長していきます。

お問い合わせ先

創価大学 学生課 奨学金係

☎ 042-691-2161

FAX 042-691-9475

平日/9:00~17:00 (土曜9:00~12:00、日・祝日除く)

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236



syougakukin@soka.ac.jp

